

<p>新東名高速道路 サービスエリア、パーキングエリア</p>	<p>静岡市、藤枝市、森町、浜松市 (静岡SA、藤枝PA、遠州森町PA、浜松SA)</p>
<p>○ ヒノキ、スギを随所に使用した木質内装は、東海道の宿場町の賑わいを感じさせる商業施設や、トイレなど広い範囲に及んでおり、多くの人が集う休憩施設に潤いを与えている。</p> <p>○ 木材の利用推進等に寄与すると認められた優良な施設を表彰する「木材優良利用施設コンクール」において、平成24年度木材利用推進中央協議会会長賞を受賞した。</p>	



【浜松サービスエリア下り線】商業施設のヒノキの内装



【藤枝パーキングエリア上り線】休憩施設・トイレ内装



【遠州森町パーキングエリア下り線】トイレ内装

<p>構造・工法 RC造</p>	<p>施工年度 平成23年度</p>
<p>規模 延床面積 571m²~1,962m²</p>	<p>事業費 125,356千円</p>
<p>設計 (株)浦野設計、(株)手島建築設計事務所</p>	<p>使用木材・使用量 ヒノキ、スギ 60.0m³</p>
<p>施工 (株)鴻池組、(株)守谷商会 他4社</p>	<p>事業主体 中日本高速道路株式会社 東京支社</p>

富士山静岡空港 旅客ターミナルビル
 (情報発信スペース「スカイフォレスト」)

牧之原市坂口

- 旅客ターミナルビル内の静岡県の情報発信スペース「スカイフォレスト」において、パーテーションウォールなど、県産材を意匠的に用いた内装に仕上げた。
- 県産材を使用したベンチやテーブルを設置し、温かみのある空間を演出している。



【全景】内装及びテーブル、ベンチなどの木製製品



【パーテーションウォール】



【呈茶コーナー】テーブル、壁等

工法・規模 延床面積 303m²
 設 計 戸田建設株式会社名古屋支店一級建築士事務所
 施 工 戸田建設株式会社名古屋支店

施行年度 平成20年度
 使用木材・使用量 スギ、ヒノキ 5.8m³
 事業主体 静岡県

富士山静岡空港 石雲院展望デッキ

牧之原市坂口

- 空港周辺の広大な魅力あふれる自然空間と、空港機能を中心とした都市空間との調和を重視するとともに、禅の極意である円を取り入れた斬新なデザイン。
- 螺旋階段前のデッキ材の一部に、圧縮して強度を高めたヒノキを利用しているほか、屋内付帯施設の床や壁などにヒノキ材を利用している。



【屋内付帯施設】床、壁の羽目板、テーブル、椅子などに利用



【ウッドデッキ】螺旋階段前の床に圧縮ヒノキ



【呈茶コーナー】壁羽目板

構造・工法 鉄骨造/地上1階建て

規模 延床面積 855m²

基本計画・監修 長谷川逸子・建築計画工房株式会社

実施設計 株式会社金丸建築設計事務所

施工 日成建設株式会社

施工年度 平成24年度

事業費 204,540千円(展望デッキ建築工事)

使用材・使用量 ヒノキ 88㎡(床材)、25㎡(壁)

ヒノキ テーブル13台ほか

事業主体 静岡県

大井川鐵道 田野口駅

榛原郡川根本町田野口

- 昭和6年開業の田野口駅は、昭和40年代の姿のまま保存されており、近年では映画やドラマのロケ地として活用されている。
- 内部の壁や天井の老朽化が進んでいたことから、川根本町役場と地元田野口地区住民の協力の下、かつての駅員宿直室と駅長社宅部分を地域の交流スペースとして改修した。
- 天井、壁、床、天井下地など、ほぼすべて川根本町産のスギ、ヒノキを使用。外壁をこげ茶に塗装することで、昭和初期から補修を重ね使用し続けている屋根瓦との色彩の調和がとれている。



【外観】昭和の懐かしい雰囲気を求めて多くの人が訪れる



【資料展示コーナー】



【交流スペース】

構造・工法 木造平屋建て 内装改修
 規模 延床面積 38.3m²
 設計 株式会社大鉄アドバンス
 施工 有限会社松本工務店

施工年度 平成22年度
 事業費 1,659千円
 使用木材・使用量 スギ 2.6m³
 事業主体 大井川鐵道(株)

伊豆ならんだの里 河津平安の仏像展示館

賀茂郡河津町谷津

- 地元の方々が、古来から守り続けてきた平安時代の仏像群を、柱・梁がしっかりと支え、文化や歴史との調和を感じさせる施設となっている。



【展示館内部】構造材、天井、手すり、仏像の台座など県産材が随所に使用されている



【受付】カウンター周りの腰壁等



【展示館入口】柱、壁や建具など

構造・工法 木造平屋建て

規模 延床面積 211m²

設計 一級建築士事務所正木設計

施工 東海建設株式会社

施工年度 平成24年度

事業費 82,898千円

使用木材・使用量 スギ、ヒノキ 69m³

事業主体 河津町

河津桜観光交流館

賀茂郡河津町笹原

- 大きな断面の柱や梁を使うことで、県産材をふんだんに使いつつ、高い天井と広い空間を実現した、開放的な交流スペースを演出している。



【外観】大きな窓からは中の木質内装が見える



【観光案内スペース】



【現しとなっている小屋組み】

構造・工法 木造2階建て
 規模 延床面積 792m²
 設計 イズステージー級建築士事務所
 施工 東海・加藤・鳥沢特定建設工事共同体

施工年度 平成21年度
 事業費 245,851千円
 使用木材・使用量 スギ、ヒノキ 421m³
 事業主体 河津町

南アルプス千枚小屋

静岡市葵区田代

- 国立公園内の施設らしく、周辺の自然との調和が図られ、建物内外に多くの木材が使用されており、訪れる登山者が安らげる施設に仕上げている。



【外観】 青空と山の緑に映える風合いが登山者に安心を与えている



【壁、天井など】 落ち着いた内装に仕上げた



【ベッドなどの造作材】

構造	木造2階建て	施工年度	平成23～24年度
工法・規模	延床面積 188m ²	事業費	133,572千円
設計	有限会社アシナ建築設計事務所	使用木材・使用量	スギ 77.1m ³
施工	株式会社東海フォレスト	事業主体	静岡県

春野協働センター（旧：春野地域自治センター）

浜松市天竜区春野町宮川

- 建物は免震構造となっており、筋交いや壁のない広い空間を創出している。
- 地元春野産のスギ、ヒノキの無垢材をふんだんに用い、大工が仕上げた美しい木組みが見える造りとなっている。
- 一般に流通している太さの柱を4本組み合わせ、ポイントとなる箇所だけに太い丸太柱を使うことで、コストを抑えながら迫力のある内装に仕上げている。



【外観】外壁にも木があしらわれている



【内装】丸太の柱、梁などふんだんに使用



【木質ペレットを燃料とするストーブ】

構造・工法 木造一部鉄筋コンクリート造 2階建て
 規模 延床面積 1,546m²
 設計 株式会社公共設計
 施工 杉浦・松下特定建設工事共同企業体

施工年度 平成 18 年度
 事業費 617,700 千円
 使用材・使用量 スギ、ヒノキ 227m³
 事業主体 浜松市

浜松市天竜区役所

浜松市天竜区二俣町二俣

- 大断面集成材ではなく、スギの無垢材を利用した組柱や組梁で大規模建築を実現し、基礎部には免震構造を採用した地震にも強い庁舎となっている。
- 天井の小屋組みや柱、梁を積極的に見せることで、「木」を感じられる施設となっている。
- 区長室の腰壁、受水槽、家具類（受付カウンターなど）には、※FSC認証林から出材された木材が使用されており、公共建築物の一部にFSC材が使われた全国初の事例となった。
- 庁舎内の空調には、木質ペレットを燃料にした冷暖房機を利用するなど、森林を生かすエコ庁舎にもなっている。

※ FSC 認証：適正に管理された森林、そしてそこから生産された木材・木材製品を認証する国際的な制度



【外観】内装と対照的なシックな配色



【ロビー】柱などを見せ、木を感じられる造り



【内装】床は圧密フローリングを採用



【木製受水槽】天竜スギで作られた受水槽

構造・工法 木造2階建て一部RC造
 規模 延床面積 2,536m²（合同庁舎棟）
 設計・施工 中建・鈴木・竹下特定建設工事共同企業体

施工年度 平成22年度
 事業費 1,098,825千円
 使用材・使用量 ヒノキ、スギ 143m³
 事業主体 浜松市

県庁本館（2階～4階廊下、4階特別会議室）

静岡市葵区追手町

- 伊豆、富士、安倍、大井、天竜の各産地から調達したヒノキの板材を、腰壁として設置した。
- 多くの県民が訪れる県庁本館は、戦前に建築された歴史的文化財である。石材の使用された重厚で格調高い建物に調和する腰壁の設置により、柔らかで落ち着いた雰囲気演出し、あわせて、県産材のPR・普及促進を図っている。



【4階階段ホール】大理石貼りの柱と調和するよう腰壁を設置



【2階廊下】落ち着いた配色を施した腰壁



【特別会議室】室内の雰囲気に合わせて設置

構造・工法 鉄筋コンクリート造 改装

規模 腰壁面積 881m²

色彩計画 静岡文化芸術大学 副学長 宮内博実

施工 株式会社ミツワ建設（2、3階）

大和建设株式会社（4階）

施工年度 平成24年度

事業費 44,205千円（当初契約額）

使用材・使用量 ヒノキ 18.1m³

事業主体 静岡県

県庁別館（21 階展望ロビー）、西館（4 階ロビー）

静岡市葵区追手町

- 県内の各産地から調達したヒノキ、スギの板材を、県庁別館 21 階の展望ロビー、西館のロビー及び各部局長室 15 室の腰壁として設置。
- また、大勢が訪れる展望ロビーなどを、人にやさしい空間として演出し、県産材のPR・普及促進を図っている。



【別館 21 階展望ロビー】壁に県内の各産地から調達した板材を腰高まで設置



【西館 4 階ロビー】半割り丸太を並べるなど工夫



【別館 21 階展望ロビー】多様なデザインの腰壁

構造・工法 鉄筋コンクリート造、鉄骨造 改装

規模 腰壁面積 320m²

施工 静岡県森林組合連合会

施工年度 平成 14 年度

事業費 18,560 千円

使用材・使用量 ヒノキ、スギ 5.4m³

事業主体 静岡県

裾野警察署庁舎

裾野市平松

- ホール（吹抜）の壁板、柔剣道場の壁板・天井板、講堂の壁板に不燃処理を行ったヒノキ（上小節：節の少なめな材料）を使用した。
- ホール（吹抜）については、「ヒノキの壁」「打ちっ放しのコンクリート柱」「大きな窓」が調和して、心地よい空間となっている。



【ホール（吹抜）】コンクリート柱やガラスと調和するよう壁にヒノキを使用



【柔剣道場】壁、天井にヒノキを使用

構造・工法 鉄筋コンクリート造4階建て
 規模 延床面積 3,428m²
 設計 高橋茂弥建築設計事務所
 施工 渡辺建設株式会社

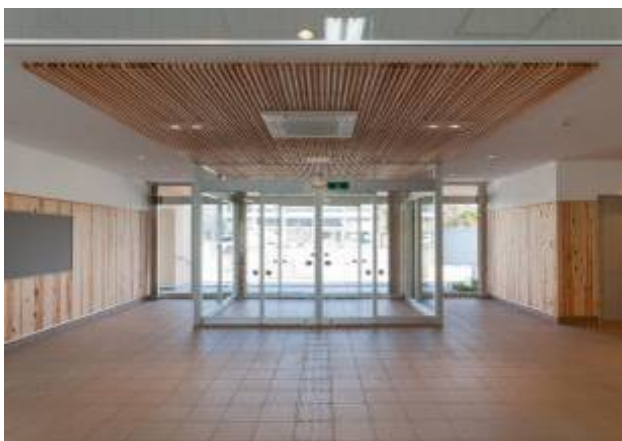
施工年度 平成 23、24 年度
 事業費 1,144,892 千円
 使用材・使用量 ヒノキ、スギ 25.1m³
 事業主体 静岡県警察本部

焼津商工会議所会館	焼津市焼津
-----------	-------

○ 1階エントランスの天井や、廊下、階段、部屋の壁の一部を木質化し、温もりのある空間を実現している。



【外観】外部玄関脇の袖壁にも木材が使われており、訪れる人を温かく迎え入れる



【1階 エントランス】天井、壁を木質化



【2階 階段、エレベーター付近】廊下、階段を木質化

構造・工法	鉄骨造2階建て	施工年度	平成23年度
規模	延床面積 867m ²	事業費	179,127千円
設計・監理	AD 同人一級建築士事務所、斉藤文雄建築事務所 株式会社水野建築事務所、株式会社イムラ設計事務所 株式会社清水一級建築設計事務所	使用木材・使用量	スギ 4.0m ³
施工	株式会社橋本組	事業主体	焼津商工会議所

井之頭区民館

富士宮市猪之頭

- 猪之頭財産区有林の木材を使い、地域景観にも調和した区民館。
- 柱や梁など、主要な構造部には、富士ヒノキを使用した。大きな梁が特徴的で、内外装の仕上げ材にもスギ板を使用するなど、木をふんだんに使うことで、温もりのある施設に仕上げている。
- 外壁はモルタルの上にスギ板を重ね、床には 25mm のスギの捨て板の上に、さらに 25mm の仕上げ材を敷き、外部からの冷気を伝えにくくしている。



【外観】 富士山の稜線を模した屋根



【玄関付近】 柱や梁を見せる造り



【集会所】 開放的で温もりのある空間

構造・工法 木造平屋建て 在来工法
 規模 延床面積 374m²
 基本設計 赤池 三七夫
 実施設計 U 設計集団リキ建築設計室
 施工 株式会社大石組

施工年度 平成 23 年度
 事業費 78,750 千円
 使用材・使用量 ヒノキ、スギ 159m³
 事業主体 富士宮市猪之頭区

風の子保育園	静岡市清水区押切
--------	----------

- 南向きで日当たりが良く、田んぼからのさわやかな風を感じ、木のぬくもりの中で、自然を感じながら心地よく過ごせる空間となっている。
- 4-5歳児保育室はヒノキ 150mm角を主材とするキングポストトラスを2面設置する事で、12m×12mの無柱空間を実現した。
- 柱はヒノキ 120mm角、4-5歳児保育室周りのみ 150mm角を使用。
- 床板はヒノキ 15mm厚（部分的に床暖房対応材を使用）、腰壁はスギ 12mm厚（部分的に準不燃処理材を使用）。



【外観】南向きで日当たりの良い園舎



【4・5歳児保育室】好きな遊びを楽しめる空間



【0・1歳児保育室】ゆったりした空間

構造・工法	木造平屋建て（一部2階建て） 在来工法（一部トラス使用）	施工年度	平成23年度
規模	延床面積 655m ²	事業費	190,150千円
設計	企業組合 針谷建築事務所	使用材・使用量	スギ、ヒノキ 146m ³
施工	イハラ建成工業株式会社	事業主体	社会福祉法人清水あすなろ福祉会

月坂保育園	島田市阪本
-------	-------

- 木造平屋で、周囲の田園風景に調和した外観。
- ヒノキ材の架構を現しにしたり、床や壁の板に節のあるヒノキ材を使用するなど、耐久性・強度のあるヒノキ材の質感や手触りにもこだわった施設となっている。



【外観】 園庭から見た園舎の全景（外部デッキは4cmのヒノキ厚板を使用）



【遊戯室】 梁を現し、床もヒノキを使用



【玄関ホール】 柱、壁に節のあるヒノキを使用

構造・工法	木造平屋建て	施行年度	平成 20 年度
規 模	延床面積 731m ²	事 業 費	257,242 千円
設 計	株式会社大宇根建築設計事務所	使用木材・使用量	ヒノキ、スギ 118 m ³
施 工	株式会社塚本工務店	事業主体	社会福祉法人嬰育会

伊豆の国市立長岡幼稚園	伊豆の国市長岡
-------------	---------

- 肌触りが柔らかいスギを用い、暖かみのある、明るく、風通しのよい園舎となっている。
- 規模的に「準耐火構造」とする必要があったが、火災にあっても屋根を支えるのに必要な太さは燃え残る「燃え代設計」とし、構造材を見える形で使っている。
- 接合部には金物、筋交いには鉄筋といった具合に木以外の材料も組み合わせ、十分な強度を確保している。



【外観】天窓が特徴的な平屋の園舎



【図書コーナー】可動式の図書コーナー



【ホール】柱、梁の構造材が見えるデザイン

構造・工法	木造平屋建て	施工年度	平成 22 年度
規 模	延床面積 1,597m ²	事 業 費	378,686 千円
設 計	有限会社石橋修建築設計室	使用木材・使用量	スギ(集成材ほか) 229 m ³
施 工	山本建設株式会社・近和電業株式会社・株式会社三ツ星工業	事業主体	伊豆の国市

桜花幼稚園	静岡市葵区馬場町
-------	----------

- 安倍川上流域で育ったヒノキを可能な限り使った、総ヒノキ造りの木の香りあふれる園舎である。
- 接着剤等の使用を最小限に抑えることで、シックスクール症候群の発生を防ぎ、子どもたちが学ぶことに集中できる環境を実現した。
- 土台には心材を使うことで、天然の防蟻対策を施している。



【全景】外部からも木がよく見える造りとなっている



【内装】壁面、柱、梁



【年中・年長棟】階段、壁

構造・工法	木造2階建て 在来工法	施工年度	平成22年度
規模	延床面積 1,204m ²	事業費	331,104千円
設計	フォルタレーザ建築設計事務所(基本設計)	使用木材・使用量	ヒノキ 187 m ³
施工	株式会社健康住宅(実施設計～施工)	事業主体	・幼稚園・学校法人桜花学園

南伊豆町立南伊豆認定こども園

賀茂郡南伊豆町上賀茂

- 子どもたちが親しみやすく、楽しく過ごすことができることを基本とし、日本の「渚百選」にも認定された白砂青松の弓ヶ浜をイメージして設計された園舎。
- 保育室前の下屋の柱、土台に南伊豆町産のヒノキを使用したほか、それ以外の構造材についても、すべて静岡県産材が使用されている。



【外観】東側道路から園庭、園舎を望む



【遊戯室】トラス構造の見える壁面



庇の裏側などうまく利用している

構造・工法 木造平屋建て（準耐火建築物）KES 構法
 規模 延床面積 1,594m²
 設計 株式会社高橋茂弥建築設計事務所
 施工 長田・平井特定建設工事共同企業体

施工年度 平成 23 年度
 事業費 380,000 千円
 使用材・使用量 スギ、ヒノキ 134 m³
 事業主体 南伊豆町

浜松市立水窪小学校

浜松市天竜区水窪町奥領家

- 水窪から見える山並みをイメージさせる外観と、木の質感を生かした内装は、木の香りあふれる温かみのある空間を生み出している。



【全景】中央部を防火区画とし、両側にそれぞれ1,000㎡以下の木造2階建て校舎を配置



【中庭】教室と組み合わせて利用できる



【内装】構造材、床などの内装材に県産材を使用

構造・工法 木造（一部鉄筋コンクリート造）
南棟1階建て・北棟2階建て
規模 延床面積 2,484㎡
設計 竹下一級建築士事務所
施工 吉川建設株式会社

施工年度 平成12～13年度
事業費 331,104千円
使用材・使用量 スギ、ヒノキ 336㎡
事業主体 浜松市

浜松市立光が丘中・幼稚園・学校 屋内運動場

浜松市天竜区山東

- 林業地「天竜」にふさわしく、皮はぎ自然乾燥したスギ丸太(樹齢 60 年生以上)を金物連結し、3層アーチ状にデザインした新感覚の木造体育館。
- 内装や、建具類にも、天竜スギがふんだんに使われている。



【全景】体育館内部 スケルトンログ構法の天井が見える



【壁面】



【階段】

構造・工法 鉄筋コンクリート造(一部木造)2階
丸太トラス屋根(スケルトンログ構法)
規模 延床面積 1,204m²
設計 有限会社デザインリーグ
施工 株式会社杉浦組

施工年度 平成 20 年度
事業費 331,104 千円
使用材・使用量 スギ 187 m³
事業主体 浜松市

静岡県立駿河総合高等学校

静岡市駿河区有東

- 静岡市立商業高校と県立静岡南高校を再編統合、県立静岡北養護・幼稚園・学校南の丘分校を併設し、平成 25 年 4 月から県立駿河総合高校として開校する。
- 壁一面に県産材合板を貼りつけることで、軽快なイメージを表現している。



【廊下】壁に県産材合板、床にヒノキのフローリングを採用



【外観】右側が新教室棟



【2階生徒ホール】

構造・工法 鉄骨造 5 階建て（新教室棟）

規 模 延床面積 6,800m²

設 計 株式会社エー・アンド・エー総合設計

施 工 平井工業株式会社

施工年度 平成 24 年度

事業費 1,312,758 千円

使用木材・使用量 ヒノキ 100m³

事業主体 静岡県教育委員会

静岡県立伊豆総合高等学校

伊豆市牧之郷

○ 図書館、体育館の壁に木材を使用し、落ち着いた空間を演出している。



【図書館】壁面の内装材



【体育館】壁面の内装材

構造・工法 鉄骨造4階建て ほか
 規模 延床面積 2,700m² (体育館)
 設計 株式会社植野建築設計事務所
 施工 株式会社加藤工務店

施工年度 平成 20 年度
 事業費 331,104 千円
 使用木材・使用量 米ツガ、ヒノキなど
 (参考値：218m³)
 事業主体 静岡県教育委員会

静岡県立科学技術高等学校

静岡市葵区長沼

- 図書室・体育館・弓道場等の壁に木材を使用することにより、明るさと温もりを兼ね備えた空間を創出している。



【図書室】木を巻いた柱が、近代的な建物のアクセントとなっている



【弓道場】壁、床などに木材を使用

構造・工法 鉄筋コンクリート造5階建てほか
 規模 延床面積 24,513m² (工事全体)
 設計 エー・アンド・エー総合設計
 施工 木内・鈴与特定建設工事共同企業体

施工年度 平成19年度
 事業費 (PFI事業)
 使用材・使用量 スギ、ヒノキほか 20.0m³
 事業主体 静岡県教育委員会

静岡県立浜北特別支援学校

浜松市浜北区中瀬

- 地元浜松市の天竜スギを圧縮加工した板を体育館の壁に使用し、大きな窓から差し込む陽射しによく似合う、暖かみのある空間を演出している。



【体育館全景】



【壁】



【壁の拡大】

構造 鉄骨造平屋建て

工法・規模 延床面積 550m²

設計 株式会社アディックス都市建築設計事務所

施工 大杉建鉄株式会社

施工年度 平成 19 年度

事業費 1,317,754 千円（校舎等含む）

使用材・使用量 スギ 13.5m³

事業主体 静岡県教育委員会

静岡県立浜松特別支援学校城北分校

浜松市中区住吉

○ 廊下、階段の腰壁、昇降所の天井など、随所に木材を使用することで、木の香りが想起される清々しい空間を演出している。



【作業室前】



【昇降所】



【階段】

構造 鉄骨造 2階建て
 工法・規模 延床面積 1,389m²
 設計 竹下一級建築士事務所
 施工 株式会社鈴木組

施工年度 平成 22 年度
 事業費 257,659 千円
 使用木材・使用量 スギ 46.3m³
 事業主体 静岡県教育委員会

菊川市小笠児童館	菊川市下平川
----------	--------

- 主要構造を鉄筋コンクリート造にし、木材に見える形で使用している。
- スギ集成材を使用したトラス構造の小屋組は、六角形グリッドの平面形状と共に建物の大きな特徴となっている。



【外観】外部のデッキは全て県産材で、スギの赤身材を使用



【オフィス（職員事務室）ホール】



【あつまれひろば】床を走り回る子供たち

構造・工法	鉄筋コンクリート造（壁式構造）一部木造平屋建て	施工年度	平成 23 年度
規 模	延床面積 440m ²	事 業 費	99,929 千円
設 計	1 級建築士事務所こころ現代民家研究所株式会社	使用木材・使用量	スギ、ヒノキ 120m ³
施 工	株式会社増田組	事業主体	菊川市

小山町立明倫小学校 放課後児童クラブ
「くじらクラブ」

駿東郡小山町菅沼

- 放課後、こども達と一緒に宿題をしたり、遊んだりする施設。
- 土台、柱、間柱、束の材料として、ヒノキ、スギが使われており、家庭的な雰囲気を演出している。



【外観】 同じ敷地にある小・幼稚園・学校の校舎との調和も図られている



【建設中の内部の様子】 構造材にヒノキ、スギを使用

構 造	木造平屋建て	施工年度	平成22年度
工法・規模	延床面積 124m ²	事業費	24,150千円
設 計	有限会社梶原建築設計事務所	使用木材・使用量	ヒノキ、スギ 13.6m ³
施 工	大幸建設株式会社	事業主体	小山町

自立訓練（生活訓練）事業所「はまかぜ」

浜松市南区小沢渡町

- こころの病を持っている方の生活能力向上のための支援を行う施設。
- 壁一面に地元天竜のスギ板材を使用することで、木に囲まれているようなやすらぎのある空間を演出している。



【生産活動スペース】扉などを除き、壁一面が木質化されている



【生産活動スペース】自然な形で節を見せながら、木に囲まれた空間を実現

構造・工法 鉄骨造平屋建て
 規 模 延床面積 79.8m²
 設 計 株式会社公共設計
 施 工 株式会社オノコム

施工年度 平成 23 年度
 事業費 21,735 千円
 使用木材・使用量 スギ 0.5m³
 事業主体 医療法人好生会

地域活動支援センター「生活支援センター 袋井いろいろ」

袋井市久能

- こころの病を持っている方の創作的活動や生産活動の機会の提供等を行う施設。
- 壁、床、天井に節のある木材を使用し、統一感を持たせながら、落ち着いた空間を作り出している。



【外観】庇の下の入り口に掲げられた看板が個性的



【内装】壁、床、天井を木質化



【内装】梁や柱も見せている

構造 木造平屋建て

工法・規模 延床面積 151m²

設計 松川総合アシスト

施工 株式会社尾崎工務店

施工年度 平成22年度

事業費 19,950千円

使用材・使用量 スギ 7.9m³

事業主体 特定非営利活動法人ひつじの会

共同生活介護事業所「なぎの家」(男子棟、女子棟)

伊豆の国市田京

- 田方福祉村の中にあり、障がいを持っている方の生活支援をする施設で、一般の住宅のような家庭的な雰囲気を出している。
- 構造材、造作、下地材などの一部にヒノキ、スギを利用している。



【外観】左側が女子棟、右側が男子棟



【建築中の内部の様子】



【建築中の外観】

構造 木造平屋建て
 工法・規模 延床面積 412m²
 設計 株式会社池田建築設計事務所
 施工 駿豆建設株式会社

施工年度 平成23年度
 事業費 207,900千円
 使用木材・使用量 ヒノキ、スギ 5.4m³
 事業主体 社会福祉法人春風会

デイサービスセンター「平成の杜」

駿東郡小山町小山

- 高齢者の方が過ごす施設として、内装に木材を利用することで、木そのものの持つ風合い、やわらかさ、温もり、香りを感じとることができる施設となっている。
- ヒノキのフローリングを採用することで、物理的な柔らかさを確保し、歩行に不安を感じる利用者の安心と、転倒時の安全を確保している。



室内に露出させた梁等の小屋組みが存在感をあらわしている



床はヒノキのフローリング、壁はスギの羽目板



【外観】

構造 木造平屋建て 在来工法
 工法・規模 延床面積 288m²
 設計 株式会社新環境設計
 施工 臼幸産業株式会社

施工年度 平成23年度
 事業費 71,400千円
 使用木材・使用量 ヒノキ、スギ 52.3m³
 事業主体 社会福祉法人寿康会

島田市立老人福祉センター「伊太なごみの里」

島田市伊太

- 利用者が長時間過ごす大広間やサークル室などは、天井のスギ板パネルを見せることで、より木の温もりを感じる空間となっている。
- 木材の利用推進等に寄与すると認められた優良な施設を表彰する「木材優良利用施設コンクール」において、平成 21 年度木材利用推進中央協議会会長賞を受賞した。



【大広間】 県産材を加工した大断面集成材を主構造に使用



【風呂内装】 天井付近を木質化



【外観】 山あいの風景に調和するデザイン

構造・工法 木造平屋建て
 規 模 建築面積 552m²
 設 計 株式会社日総建 静岡事務所
 施 工 株式会社小桜建設工業

施工年度 平成 21 年度
 事業費 220,800 千円
 使用木材・使用量 スギ 110m³
 事業主体 島田市

特別養護老人ホーム「グレイス」

牧之原市坂部

- 「特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準」上の知事が認める要件を満たすことで、耐火建築物でない木造平屋建て老人ホームを実現させた。
- 内装の要所に木材を使い、安らぎのある空間を演出している。



【外観】自宅から移られる方にも違和感のない木造住宅に似た外観の居室棟



【共同生活室】柱、梁にはヒノキが使われている



【各棟をつなぐ渡り廊下】

構造 木造（一部鉄骨・鉄筋コンクリート造）平屋建て
 工法・規模 延床面積 2,441m²
 設計 株式会社公共設計
 施工 株式会社オノコム

施工年度 平成21年度
 事業費 391,650千円
 使用材・使用量 ヒノキ 17.7m³
 事業主体 社会福祉法人牧ノ原やまばと学園

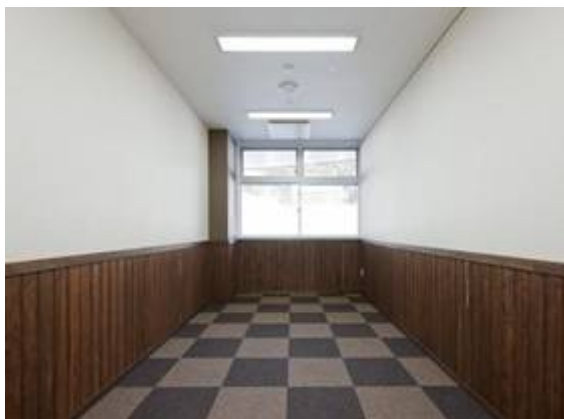
特別養護老人ホーム「富士まかど」

富士市間門

- 内部造作・建具等に木材を使用し、落ち着いた雰囲気醸成している。



【各ユニット 共同生活室】柱や梁、造作材に使用



【1階相談室】腰壁



【1階地域交流室】化粧木の造作材

構造 鉄骨造3階建て
 工法・規模 延床面積 5,078m²
 設計 株式会社池田建築設計事務所
 施工 株式会社大林組

施工年度 平成23年度
 事業費 852,600千円
 使用材・使用量 ヒノキ 94.9m³
 事業主体 社会福祉法人鑑石園

草薙総合運動場 硬式野球場

静岡市駿河区栗原

- 野球場の内野スタンドを耐震改修するにあたり、スタンド下の通路および諸室を木質化し、温かみのある空間を確保した。
- メインの廊下全体の腰壁や、控え室内などの仕上げ材として、主にスギ材を使用。
- 建物外部の設備機器や、トイレの窓の目隠し格子として、間伐材の丸太を使用している。



【来賓観覧室】壁にスギを使用



【来賓室】天井にヒノキ、壁にスギを使用



【設備機器の目隠し】間伐材の丸太を使用

工 種 耐震・改修工事
 設 計 株式会社日総建 静岡事務所
 施 工 第一建設株式会社（一塁側改修工事）
 平井工業株式会社（三塁側改修工事）

施工年度 平成22年度
 事業費 1,001,000千円
 使用材・使用量 ヒノキ、スギ 54m³
 事業主体 静岡県

堆肥舎	富士宮市村山
-----	--------

- 平成 20 年度 地域バイオマス利活用交付金を利用して建設。
- 屋根を支える母屋にヒノキを使用。



【堆肥舎外観】



【堆肥舎屋根】屋根を支える母屋の材料にヒノキを使用

構造・工法	鉄骨造平屋建て	施工年度	平成 20 年度
規 模	延床面積 655m ²	事 業 費	49,654 千円
設計・施工	新興商事株式会社	使用材・使用量	ヒノキ 45.8m ³
		事業主体	村山有機組合